

# 2024年1月の格言

令和6年1月の格言は

令和6年の予想  
甲辰  
(キノエ・タツ)

来る令和6年は、平成29年よりスタートした、経済台頭期の8合目の年となります。この時代を生きるヒントとして、中国の古典『論語』にある教訓として、次の言葉をご紹介します。

**「敏なれば、即ち効あり」です。**

コロナの悪影響も徐々に減少し、大企業を始め、日本経済が復活し始めています。ただ、これからの時代は、凡庸としていては駄目です。常に何事に対しても敏感に対応しないと時代から取り残されます。論語は、敏感であれば必ず良い成績を得られると言っています。海外ではロシアとウクライナの戦闘があり、また日本近海では中国が台湾を狙い、北朝鮮からはミサイルが飛んでくる状況。イスラエルとパレスチナの間も深刻。日本国内では、いわゆる「Z世代」が台頭し始めています。この世代は少子化の世代。つまり簡単に転職が出来るので忍耐が出来ない世代です。つまり人と時代が大きく変化しつつあるのです。今までの時代感覚では生き残れない時代に入ってきました。政治家も官僚もそして経営者も今まで以上に敏感にならないと時代から取り残されます。

では、来たる令和5年は、どのような年になるのでしょうか？  
算命学の未来予測術に基づき、解説させて頂きたいと思います。

令和6年、干支暦では「甲辰」の年になります。  
甲辰（キノエ・タツ）年の意味するもの

俗に、干支の事をエトと言いますが、十干の中で陽の十干を「エ」と言い、陰の十干を「ト」と言います。

令和5年は癸卯（ミズノト・ウ）年で陰の年でした。

なので国内では広島でG7が開催され、コロナが5類に指定されたなどがありますが、この年は例年にないほど猛暑となり、また大型台風が来て、大規模な水害。それやこれやで内閣支持率が低下してきました。

令和6年の干支にあたる、「甲」（キノエ）は、中国の五行説である、木性、火性、土

性、金性、水性の5要素の内の「木性の陽」にあたります。  
すなわち「甲」(キノエ)は、五行を東西南北と中央の五方向に割り振った中では「東」に位置します。  
さて年の干支の十二支の方は「辰(タツ)」。「辰」は算命学では陽の土性であり、手偏をつけると振動の振になります。  
つまり揺れ動くという意味があります。

「甲辰」が意味する年は、陽の干支の年なので、海外で様々な出来事が起こる暗示があります。  
心配なのは国際政治と経済の混乱です。また引き続き天災も継続する懸念があります。

東洋哲学時代論では、国家の憲法施工の年をスタートとして  
10年ごとに5種類の時代変化をとげるとしています。  
日本国憲法は、昭和22年に施工されましたので以後50年、  
5種類の時代を通過してきました。現在は2巡目の経済台頭期の8合目となります。  
60年前の甲辰の年は、アメリカのベトナム戦争介入が始まり、一方ではオリンピックが開幕。  
日本国内では楽しい事がありました、世界では戦争が始まりました□  
また令和6年は、引き続き天候不順も続きます□  
心配なのは地震です。また引き続き猛暑や水害も心配です。  
前回の甲辰年のヒット曲は、坂本九の「明日があるさ」、  
都はるみの「アンコ椿は恋の花」、西郷輝彦の「君だけを」、  
青山和子の「愛と死をみつめて」、舟木一夫の「君たちがいて僕がいた」などです。

ファッションで流行ったのは、男性はVANのアイビールック□  
女性は銀座のみゆき通りに多数出没したアイビールックの「みゆき族」。

## 経済台頭期

甲辰年の日本国の運氣と経済動向

令和6年は、算命学における時代論で分析しますと、平成19年から始まった知恵の時代が終わり、平成29年から経済が発展する経済台頭期に入って8合目になります。

算命学では50年ごとに時代は似たような傾向をたどるとしていますが、新年は昭和でいえば99年。

ということは50年前は昭和49年です。

この時期は驚くほど日本経済が右肩上がりの時期で

戦後、考えられないほど最初の景気の良い時期でした。

誰でも数多くの残業は当たり前。長時間残業なので帰宅時は新入社員でも自宅までタクシーを使って良い時代でした。

それでは令和6年は日本国の経済にとって、どのような年となるのでしょうか？

平成5年は原油の値段が上がり、電気代も上昇傾向。

世界ではロシアのウクライナ侵攻、また中国では不動産の失速、水害、等で最悪の状態でした。

日本は円安で、輸入は大変ですが、逆に輸出産業は好景気に弾んできました。

また円安のお陰で、海外からの訪日客が大幅に増えました。  
来たる令和6年は、令和5年よりは経済は更に活性化してきます。  
また海外からの需要が増えて、輸出や海外からの旅行者関係の分野では  
かなり業績が上昇するでしょう。  
ただ、輸入関係は、引き続き厳しさが続く状況は同じですが。

## 甲辰年の国内政治の向かう方向

今の政治は異様です。

自民党の岸田総理は、真面目な方ですが二度ほどご一緒する機会がありましたが  
印象は普通のオジさん。聞く耳はありますが、決断力がない。

安倍さんが後ろについていたら素晴らしい政治をしたでしょうが、  
岸田さん一人だと難しい。

一方で自民党の中には代わりに出来るというほどの人材は皆無□

また公明党は、平和の党とは名ばかりで、与党でありながら、  
他国が攻めてきたらどうするかとの政策が皆無。

ただ、平和だ、韓国や中国と仲良くしようとししか考えられないお粗末さなので  
今後は激減するでしょう。

では、野党は？というと維新は大きく伸びるでしょうが、これも一時的な現象。  
立憲民主党は、右派と左派が共存していて、はっきりした政策が出せず、  
与党のスキャンダル追及が全て。

共産党は、世界が荒れている今なのに、自衛隊を無くせ、日米安保は破棄せよ。  
と言うだけ。日本の政界は脳死状態です。

## 甲辰年における中小企業の生き方

中小企業はこれからは二極分化してゆきます。

一方で輸入が多い企業、また中小企業が厳しい環境が続きます。

すなわち、今まで以上に伸びる企業と、今まではよかったが、  
これからじり貧になる企業の二つに分かれます。

では生き残る中小企業のトップがもつべき心がけについて述べていきます。

### ①過去の成功に固執しない

昭和の時代に成功し、その余録で平成を生き延びてきた中小企業が多いと思いますが、  
過去は過去と割り切り、過去の成功体験を切り捨てる意欲が求められます。

今は時代が変わりました□AIの普及もあり若い世代の好みも大変化。

情報もテレビや新聞ではなく、ネットから得る若者がほとんど。

自分が気に入ればブランドなどは関係ない。

驚いた事に男性でネクタイをする人が激減。背広も着なくなる時代。

食べ物の好みもファッションにも変化が。

為替は円安が続き、今までのやり方が通用しません。

## ②社是を変える必要がある

社是は創業以来、大切にしてきたものです。

確かに昭和の時代なら素晴らしいですが、今の時代には合わないものがあると思います。

大切なのは時代に合わせてトップ以下、心の柔軟性を持つこと。

目の前の変化をしっかりと見つめて必要なら受け入れる柔軟性が大切。

## ③有難うの言葉を常に

人生にはいろいろな事が起こります。

辛い事、苦しい事。それを嫌ったり恐れてはいけません。

何があっても有り難うと言いましょ。

この地球上には登りっぱなしの山もなければ、下がりっぱなしの谷もありません。

下り坂の次は上り坂の入り口でもあります。

なので何があっても「有り難い」と思う気持ちが幸運への入り口になります。

そして自分や自社の幸福だけを考えずに、

他人や他社の幸福の為に尽くす事が大切です。

他人や他社を幸せにした人や組織は必ず天から余慶が与えられます。

## 甲辰年における社会現象

令和5年は、猛暑と台風や線状降水帯で水害が多数。

大変な時代でしたが、甲辰の年も引き続き猛暑や水害が多発するでしょう。

また地震の心配も全国的にあります。

最近マンションに住む方も増えてますが、危機管理として準備が必要です。

すなわち、水、食料、懐中電灯、簡易トイレ、携帯電話への充電等。

またカードなどが一時的に使えなくなる場合を考えて、

ある程度の現金も用意しておいてください。

## 甲辰年におけるサラリーマンの心構え

今や日本は高齢化社会です。寿命も延び70歳や80歳はまだ元気な人が多い。

いずれにしても60歳で定年になったら、

それから20年から30年ほど長生きをしたら退職金や年金では足りません。

また何の仕事もせず、社会に役立っていないとボケてしまい、

また健康にも問題が出てきます。

それを避けるにはどうしたらいいか？ですが、

今までの日本のサラリーマンは、会社に年功序列で勤務し、

ある程度の年齢になったら部長や役員になって部下に命令するだけでよかった。

しかしそれだと定年の後、何も特技がなくて役立ちません。



まだ現役の内に、専門知識を身につけ、また資格を取得しておけば必ず自分を必要とする場が出てきます。

## 甲辰年における諸外国の運氣と動向

### ①米国

2024年はアメリカの大統領選挙が行われます。  
今の段階では民主党からはバイデン現在の大統領。  
そして共和党からはトランプ前大統領が有力な候補ですがバイデンはこの年は82歳。  
トランプは78歳になります□JFケネディが大統領になった時は43歳。  
アメリカが如何に衰えてきたかがわかります。  
ちなみにバイデン大統領は46代目の大統領。算命学の代数論によると、  
末尾が1代、6代の大統領は攻撃本能が宿り末尾が2代、7代の大統領は陰謀家的。  
末尾が3代、8代の大統領は和合的。4代、9代の大統領は庶民的。  
5代、10代の大統領は人気があるが暗殺の危険性あると申し上げました。  
代数の運氣からみると、バイデン大統領は攻撃的本能があります。  
今はウクライナ問題でロシアに厳しい態度をとっていますが、2023年秋に、  
中東ではパレスチナ自治区ガザでイスラム原理主義組織のハマスがイスラエルを攻撃。  
イスラエルが怒り、双方でかなりの死者が出ており米国はイスラエルを全面支持。  
米国はウクライナとイスラエルの二方面で軍事介入。  
その一方で中国、北朝鮮に対してはかなり厳しい態度を示しています□  
今のアメリカは白人が6割を割りました。白人は共和党支持ですが、  
激戦区では白人以外が多く、そこでは民主党が有利。  
結果、民主党が政権を担う可能性が高いという見方が有力です。

### ②ドイツ/フランス/英国

欧州では中東やアフリカからの違法難民が増えて、大問題となっています。  
英国では避難民を受け入れるEUの方針に反対し、EUを離脱しました。  
そして今の首相はスナク氏。彼は44歳になるヒンズー教徒でインド系。  
79代首相。つまり庶民的な人気が出る首相です。  
ドイツのシュルツ首相は、八方塞がり気味の年となります。  
最近の欧州、そしてドイツは右派が増えてきており、シュルツ氏の妥協的方針が揺らぎ始めて来ています。  
またフランスのマクロン大統領は天中殺が終わったばかり、国内にテロなどの問題を抱えます。

### ③ロシア

プーチン大統領は、晩年が美にならない運氣です。ウクライナ侵攻は、かなり苦勞し  
なんとか収めるとは思いますが、経済が大変で、ロシアはかつての、  
世界の大国とは違ってきます□  
プーチンは午未天中殺。午未天中殺は末代運。  
次に続けるには事前の準備が必要ですが、彼の代でロシアは厳しい状況になるでしょう。

### ④中国

習近平の父親は毛沢東に次ぐナンバー2の地位でしたが、  
鄧小平にやられ、10年以上も監獄に。結果、当初はお坊ちゃんだった習近平はとても辛

い立場に。

彼は小学校程度の学びしか出来ておらず、後は革命の学びだけ□

彼の顔を見ていると、あまり知性を感じられません。

結果、毛沢東に憧れ、自分が毛沢東のようになりたがっているだけ。

彼の問題点は独裁者という点。側近はイエスマンばかり。

彼はゼロコロナに失敗。不動産不況。若者の5割は就職出来ない。

そして辰巳天中殺でこれから2年間は天中殺。中国は益々疲弊してきます。

## ⑤韓国と北朝鮮

ユン大統領は、運氣的には東と南が吉方で、北は忌神。

だから北朝鮮に厳しい。反日感情の強い韓国を親日に変える努力は素晴らしい。

北朝鮮の金正恩も辰巳天中殺なので。

これから2年間は運気低迷。北朝鮮は危ない時期に入ってきています。

## 陽の時代における身の処し方

今は算命学時代論では、二巡目の陽の時代となります。

第一句の陽の時代は今から約50年ほど前。日本経済は成長につぐ成長で給料がどんどん上がり、一億総中流と言われたものです。

しかし今の時代は、同じ陽の時代とは言え、様変わりしています。

それは陰の流れの中での陽の時代だからです。

この時代を生き抜くには、次のような心がけが必要です。

## ①人生無駄なしと思う

いろいろ苦しい事があるでしょうが、人生には無駄はありません。

今の苦しみの先に必ず広がる未来があります。

なので、常に人生は無駄がない。。

全て意味があるのだと思って下さい。

## ②過去に拘らない

過去は過去。過去によかったやり方でもこれからの時代には通じません。

常に気分を新たにしましょう。

## ③早寝早起きをする

朝は全てのスタートです。これからは夜は早く寝て

朝は日の出と共に起きましょう。

これが全てにおいて開運の基本です。

④常に全ての事、全ての縁ある人に感謝する

有り難うとは有り難い事。つまりあり得ない事。  
全てをそう思い、あり得ない事が与えられたと思って有り難うと言うと開運します。

⑤常に「神恩感謝」と言って神様に感謝する

神社に参拝した時、単に願い事を言うより、  
まず元気でこの神社にお参りにこれたことを神様に感謝。  
神恩感謝が基本です。

令和6年を迎え、皆様のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。

算命学・中村嘉男氏の教えです。